

多様な地域の維持・活性化の意義

国土の形成に多様な役割を担ってきた地方中小都市や離島、中山間地域等では、人口減少、少子高齢化、財政制約の強まり、産業構造の変化等を背景として、就業機会や社会的諸サービスの継続的な提供の確保等が厳しい状況

地域の担い手の自助努力、主体的・総力的な取組により、地域における就業機会や社会的諸サービスの維持を確保するとともに、成熟社会への移行により個人の満足度の尺度が、経済的な豊かさから文化、ゆとり、環境等の心の充足感へと多様化していることをチャンスと捉え、固有の魅力溢れる地域づくりにより地域の担い手の定着・確保を図り、地域の将来的な持続を確保互いに対極にあるものとしての価値を有する都市と地方は、地域間の互惠関係を再構築し、連携しながら持続可能で自立的な地域を創造

各種の社会的諸サービス等これまで行政が担ってきた「公」の分野の役割を、地域住民、NPO、企業など多様な主体が共に担う動きの高まり

(「新たな公」形成の効果)
生活の質の向上、社会参加による自己実現、地域への誇りと愛着の育み、地域経済の活性化、再チャレンジの機会の提供、行財政負担軽減 etc.

「新たな公」の考え方を基軸とする 地域経営システムへの転換

・「新たな公」の担い手(地縁型コミュニティ、NPO等の住民組織等)の復活・成長への支援
・地域における信頼の形成等地域経営システムが円滑に機能するための基盤の整備

地域の維持・活性化

地域資源を活用した地域の維持・活性化方策

地域主体の自助努力、主体的・総力的な取組による差別化された価値と魅力の創造
民間の発意・活動を重視
環境資本・文化資本など地域資源の発掘・再評価・磨き・活用
外部の専門的人材の活用、地域の緩やかな組織化等を通じた多様な担い手の確保
地域における資金の循環・確保、「志」がある投資
地域間の連携
ICTの積極的活用

今後の行政・国の役割：画一的な支援からの転換

民間の発意・ビジネスマインドの誘導・サポート役へ
国などの広域的行政主体の役割
・新たな地域社会像の形成・支援、地域戦略の独自性を高める競争の環境整備、
地理的・自然的条件等の不利性の是正 など

集落の将来像の構築

多くの集落で、人口減少・高齢化
・末端集落の「周辺地化」の懸念 →
・維持・存続が危ぶまれる集落が多数
・相互扶助などの集落機能の低下、
様々な問題発生、住民生活に影響

具体的取組への反映

・行政の継続的な目配りを確保し、住民と地域のつながりを維持(ICTの活用)
・住民の発意・意向に基づき、暮らしの将来像についての合意形成(公共投資、土地利用を含む)
・集落機能の維持・再編成に向けて、先進的事例の収集・分析
・無住化した家屋、山林等の管理・活用のための工夫・仕組みの検討(価値の再評価を含む)